

## 大府市「育児サポーター養成講習会」

多胎児家庭支援育児サポーター養成講習会を実施しました。

開催日：2021年4月23日（金） 13:30～16:35

会場：大府市役所 地下会議室

内容：家庭訪問の現場から、乳幼児の発達、多胎児の妊娠から産後まで  
支援者の倫理など

### 【受講アンケートより】

お母さんが抱える困難やストレスは、4ヶ月から1歳頃ですが（双子だけではなく）、保健センターで行う支援で、健診が4か月児、1歳6か月児、3歳児となっていますが、4か月～1歳6か月までの間が長いので、何か支援できるといいのにと思いました。

---

妊娠中や産後の大変さから、子育てで母親の抱える状態を把握できるというお話は、とても勉強になりました。

---

多胎児家庭の支援として、一時預かり・家事援助・タクシーチケットの配布、外出支援などがあることを知りました。多胎児の授乳期は大変で、乳児を連れての買い物などの外出が、母親にとってはかなりの負担となっているのだとわかりました。乳幼児の発達には個人差があり、途中遅れ気味になったとしても最終的には単胎児に追いつくこと、夜泣きのピークは8か月～1歳くらいと学びました。

---

いつも心に染みるワードをありがとうございます。

---

私には、今年から保育園に入園した2歳児の孫が一人います。両親は働いており、祖父・祖母で一日の大部分を面倒みています。動きが活発になってきているので、とても疲れます。一人でも大変なのに、多胎児を育てることは、母親の心身の疲れは計り知れないので、今の役場の支援制度はとてもいいことであると思います。制度の正しい使い方をもっと広く知られるようになるとうれしいと思います。

---

多胎児家庭をいろいろな人達（市の未来課・子どもステーション・市の健康推進課）が見守ってくれているのだなぁと思いました。

---

熱意・気持ちがとても伝わってきました。